

ひょうごの環境を支える共創力

脱炭素（県内企業の脱炭素経営の促進）

産業振興に関する連携協定を締結する金融機関3行とは、県内のGHG排出量の約7割を占める産業・業務部門における脱炭素化を進めるため連携した取組を進めている。

三井住友銀行（SMBC）

本県では、**企業版ふるさと納税制度を活用した同行からの寄附**を活用し、カーボンニュートラルの実現、中小企業を中心とした県内企業の脱炭素化支援を実施している。

寄付金額	3.5億円
活用事業	水素ステーション整備支援、GHG排出量算定サービス導入促進、PPA方式による太陽光発電設備等導入支援、カーボンクレジット活用促進、カーボンフットプリント（CFP）普及事業 など

また、R5.2に、**三井住友銀行、神戸大学、地球環境戦略研究機関（IGES）、神戸新聞社及び兵庫県**の5者により、「**脱炭素社会の推進に関する包括連携協定**」を締結し、脱炭素経営セミナーなどの広報・普及啓発、次世代への環境教育などに連携して取り組んでいる。

みなと銀行

脱炭素貢献私募債「グリーン企業の証」の発行事務と全額引受を担う同行が、企業から受け取る事務手数料の一部を、企業が指定する環境関連基金に寄付し、脱炭素社会の実現や事業者の脱炭素経営の促進・持続的な企業価値向上を後押ししている。また、脱炭素経営サークルを設立し、本商品利用後も事業者の脱炭素に向けた取組をサポートしている。

寄付金額	私募債発行金額の0.2%相当額
寄付先	緑の募金、ひょうごグリーンレジャー・ブルカーボン基金、循環型社会形成推進基金、森林の恵み活性化プロジェクト、地球環境基金
寄付総額	1,152万円（R4.3～R5.9 45社）

日本政策金融公庫神戸支店

地方版総合戦略により、地方創生に資する事業として地方公共団体が認めた事業を行う事業者を対象とした**特別利率による融資**を行い、カーボンニュートラルに取り組む事業者を金融面から支援することで、地域の自立的な成長・発展と兵庫県内の取組推進に繋げている。

利率（年）	基準利率（貸付期間により1.07%～1.45%）から0.40%引き下げ
対象	「地域創生！再エネ発掘プロジェクト」の採択を受けた事業者、「再エネ100宣言 RE Action」に参画する事業者 など
実績	5社（R4.4～）

ひょうごの環境を支える共創力

脱炭素（水素関連）

ひょうご水素社会推進会議

兵庫県には、**水素社会を先導する企業等が集積**しており、そのポテンシャルを活かし、産学官が一体となって日本における**水素社会の先導的な地域となることを目的**に令和4年10月に第1回推進会議を開催。会議では、淡路島の豊富な再生可能エネルギーを活用した水素エネルギーの地産地消を検討するなど、兵庫県が有する地域資源の活用も視野に入れた検討等を行っている。

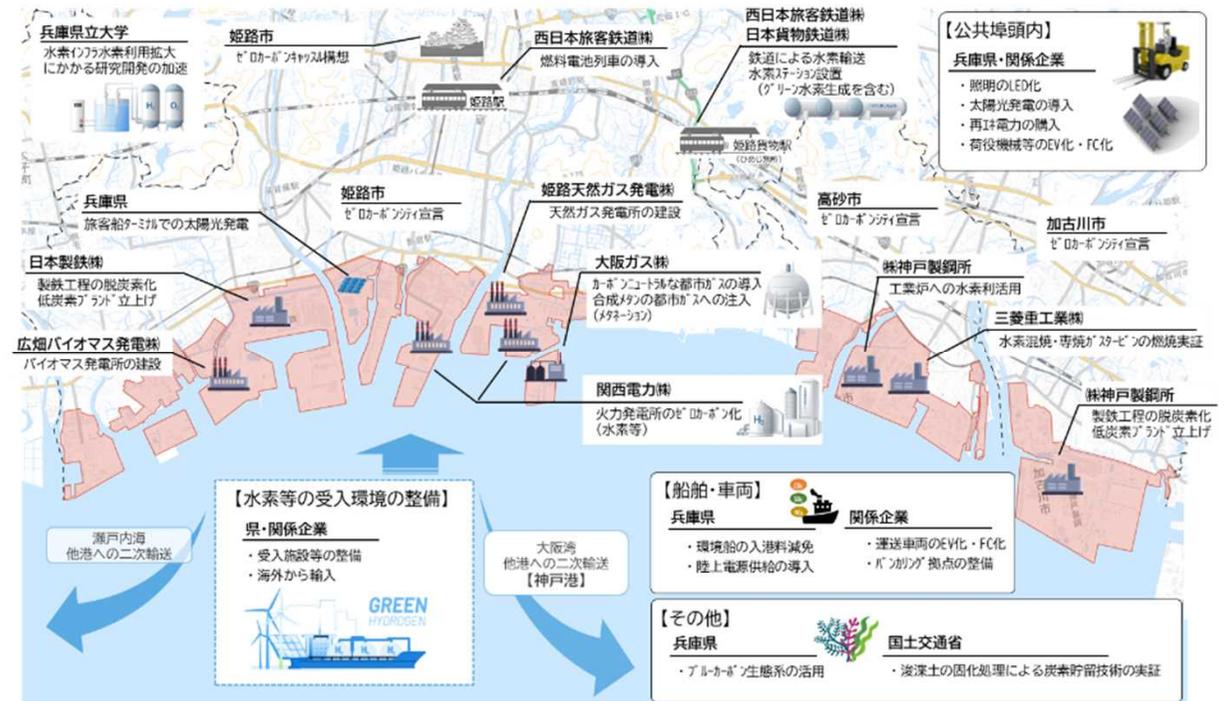
【構成員】

学識経験者、行政機関、

関連企業 **（岩谷産業株式会社、株式会社大林組、大阪ガス株式会社、川崎重工業株式会社、関西電力株式会社、株式会社神戸製鋼所、東芝エネルギーシステムズ株式会社、トヨタ自動車株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、丸紅株式会社、三菱重工業株式会社）**

播磨臨海地域カーボンニュートラルポートの形成

「ファースト・ムーバー」**「播磨」for瀬戸内・関西**を基本コンセプトとして、**地域の面的な脱炭素化と瀬戸内・関西における水素等のサプライチェーンの拠点形成**に取り組んでいる



ひょうごの環境を支える共創力

自然共生（生物多様性）

ひょうごの生物多様性保全プロジェクト団体

貴重な動植物の保護や特定外来生物の防除など、県内で取組まれている生物多様性保全活動の中から、**モデルとなる活動を選定**し、プロジェクトの実施団体への**支援**を通じて生物多様性の保全に取り組むとともに、**活動の担い手の育成・拡大**を推進している。平成23年2月から取組を開始し、これまで108団体が選定されている。

プロジェクト団体 全108団体

希少種保全 37団体

（西播磨7、但馬7、丹波7、中播磨6、その他10）

地域生態系の保全・再生 42団体

（阪神北13、阪神南5、中播磨5、西播磨5、その他14）

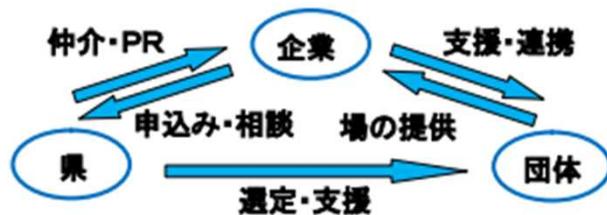
水辺環境の保全(外来生物駆除を含む) 22団体

（阪神南3、西播磨3、但馬3、その他13）

生物生息・生育環境の創出 7団体

（但馬3、阪神南2、神戸1、丹波1）

県民による活動の輪をさらに広げていくため、企業等から、プロジェクト団体への支援を目的とした寄付を募っており、その寄付金は、(公財)ひょうご環境創造協会が設置する「**生物多様性ひょうご基金**」で受入れて、プロジェクト団体に助成している。



活動状況



ひょうごの環境を支える共創力

自然共生（豊かな海づくり）

ひょうご豊かな海づくり県民会議

令和4年11月に明石市で開催された「全国豊かな海づくり大会兵庫大会」で醸成された豊かな海づくりに向けた気運を次世代に引き継ぎ、豊かな海づくりを**県民総参加**の運動へと発展させていくために、令和5年7月に設立。

多様な主体が取り組む豊かな海づくり活動のネットワーク化を推進し、「**豊かで美しいひょうごの海**」の実現を目指している。

会員 100会員（R6.1.11時点）

（うち、関連団体23、NPO7、事業者27、研究機関2、教育機関8、マスコミ4、個人8、国3、県1、沿岸市町17）

R5.7.27 75会員が参画し、「**ひょうご豊かな海づくり県民会議**」を設立
設立総会に続きパネルディスカッションを開催



「パネルディスカッション
～ひょうごの豊かな海づくり×フィールドパビリオン～」
出演者がフィールドパビリオンの取り組みや豊かな海、SDGsについて発表するとともに、県民会議の会員同士が連携し、今後の豊かな海づくり活動をどのように県民総参加の取り組みにしていくのかなどについて意見交換

R5.11.11 第1回ひょうご豊かな海づくり推進大会

会員協力のもと、豊かな海づくりに関するワークショップや県やNPO、企業等の取組発信、子供向け里海教室、クイズ大会などを開催。

県民総参加に向けた情報発信を行うとともに、会員間の連携促進を図った。



当日は約500名の方が参加。
豊かな海づくり活動に関する理解を深めていただいた。

ひょうごの環境を支える共創力

資源循環（プラスチック）

ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアム

令和4年度からプラスチック資源循環を促進するため、**観光やスポーツ等の異分野業種や市町、リサイクラーと連携**し「ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアム」を開始。「プラスチックの使用削減などの促進」、「水平リサイクル等の促進」、「市町が回収する製品プラスチックの効率的な資源循環」、「行動変容の促進」の4つのテーマにより展開しており、**プラスチック資源循環促進方策の具現化**に取り組んでいる

コンソーシアムの4つのテーマ

プラスチックの使用削減などの促進

《Reduce》

- **城崎温泉旅館**でのプラスチック使用削減・生分解性プラスチックの利用促進

- ・城崎温泉旅館協同組合が主体となり、宿泊客にアメニティグッズ持参を呼びかけ、城崎の街全体でプラスチック製品の使用削減に向けた取組を展開し、サステナブルツーリズムの推進を図る
- ・宿泊客へアメニティグッズを提供する場合には、素材を生分解性プラスチックへ転換

《Reduce・Reuse》

- **イオン・テラサイクルジャパン**でのLoopの取組を展開

- ・「Loop」を通じて、プラスチックごみを出さない新しいライフスタイルの普及を促進
- ・今後、店舗数や商品数の拡大を目指す

《海洋プラスチック対策》

- **カネカ**や**ダイセル**などの生分解性プラスチックの利用促進

- ・海洋プラスチックごみ対策として生分解性プラスチックへの置き換えを促進



水平リサイクル等の促進

- 食品トレー・透明パック容器の店頭回収促進

- ・**小野市**がスーパー及び包装材メーカー（**株**）**エフピコ**と連携し、トレーの水平リサイクルの取組について普及啓発を実施。今後、更なる資源循環の取組を目指す

市町が回収する製品プラスチックの効率的な資源循環

- 分別収集リサイクルスキームの構築

- ・**小野市**、**加西市**、**加東市**と県が共同で、各市ごみ中のプラスチック資源潜在量を把握、リサイクルケース別のコスト・CO₂削減効果を検証【環境省「プラスチック資源循環に関する先進的モデル形成支援事業」（R4年度）に採択】

行動変容の促進

- **アシックス**との連携

- ・スポーツウェアの回収やプロギングイベントを実施、スポーツウェアを回収した新たなウェアへリサイクルする取組を目指す

- ごみ拾いアプリ（**ピリカ**）の活用

- ・ごみ問題を自分事として捉えるきっかけとして、ごみ拾いイベントや身の回りのごみを拾った際などに「兵庫県版ピリカ」活用を呼びかけ

- **JT**との連携

- ・豊かな海づくり大会の関連イベントとして明石市内沿岸でピリカを活用した清掃活動を開催、「兵庫県版ピリカ」をお披露目

- 海洋プラスチックごみ問題を啓発するイベントの実施

- ・**（公財）ひょうご環境創造協会**が、レジ袋の売上げにかかる寄付を活用し、須磨水族園や人と自然の博物館等で企画展を開催

- ・兵庫県内の中高生を対象に、海ごみに関する環境学習や海岸清掃活動を実施

- ・**神戸市**と共催で、環境に配慮した様々な取り組みを行っている事業者・団体などを集め、こうべ環境博覧会「かんぱく」を開催

ひょうごの環境を支える共創力

環境学習・教育

ひょうごユースecoフォーラム

若者世代による環境活動の活性化を通して**将来社会の担い手を育成**するため、高校生・大学生の**学生企画委員の企画・運営等への参画**のもと、各団体、企業等から活動発表やポスターセッション、グループディスカッションを実施している。

環境保全・創造活動の担い手が**世代や分野を越えて一同に会し、交流や意見交換**を行うことで、今後の活動の活性化に寄与するとともに、将来世代につなぐ契機となることを期待している。

第5回ひょうごユースecoフォーラム (R5. 12. 23)

《全体テーマ》ともに拓くひょうごの環境～脱炭素、生物多様性、資源循環の社会を子ども達とつくるために～

【企画・運営】大学生、大学院生5名

【活動発表】高校2校、環境保全団体1団体、企業2社

【ポスターセッション】幼稚園1園、中学校1校、高校11校、大学5校、企業5社、環境保全団体21団体 合計44団体

【グループディスカッション】105名



活動発表（明石北高校）

ソメイヨシノなどのバラ科の植物に被害を及ぼす特定外来生物クビアカツヤカミキリの分布拡大阻止に向けて、昨年度は、樹木医と連携して、成虫や幼虫の調査を実施。今年度は企業と協働して調査を行い、GISを用いたソメイヨシノのデジタルマップを作成した。



グループディスカッション

地域の魅力の向上や課題解決のために各主体が行動すべきことについてディスカッションを実施。「子どもたちと自然体験ボランティアのマッチング」や「親世代を巻き込む」などの意見がでました。

ひょうごの環境を支える共創力

環境全般

ひょうご環境保全連絡会

平成26年に旧兵庫県大気環境保全連絡協議会及び旧兵庫県瀬戸内海環境保全連絡会を統合し、設立。会員が相互に協力し行動することによって、生活環境の保全に加え、温暖化防止、生物多様性及び資源循環等に関する思想の普及及び意識の高揚に努め、環境の保全と創造を総合的かつ効果的に推進することにより、“豊かで美しいひょうご”の実現を目指すことを目的としており、海辺の環境学習の実施、エコドライブや環境配慮型自動車の普及・推進、現地研修会の開催、関係法令集の作成、環境保全活動への支援等を行っている。

479会員（R6.2月末）

（うち、県及び県内全市町42、漁業団体2、運輸関係33、住民衛生2、環境調査14、事業場386）

海辺の環境学習の実施



海の豊かさや植物に触れることができる自然体験の提供や、中高生を対象とした海ごみに関する環境学習などを実施

エコドライブ、環境配慮型自動車の普及・推進



エコドライブの定着や、環境に優しい自動車の普及を図るため、国道・県道等に設置されている電光掲示板での情報発信、啓発資材の提供など、様々な事業を実施

兵庫県環境保全管理者協会

昭和51年6月に発起人会を設立し、同年に「兵庫県公害防止管理者協会」として正式に発足。（平成8年に20周年を契機に名称を「兵庫県環境保全管理者協会」に変更。）

環境保全に係る管理者等の知識・技術の向上ならびに環境管理の推進をはかり、地域の環境保全と持続的発展が可能な社会の構築に寄与することを目的としており、環境関係法令等の普及、環境保全に関する情報、資料の提供などを行っている。

141会員（R5.12.30現在）

【対象】特定工場および地方公共団体との環境保全協定又は公害防止協定締結工場ならびに、これと同等と会長が認める工場、事業場等